

大名五郎藏

帝キ本 芦屋時代映畫

原作並脚色者 丘新之助氏

監督者 江後 岳翠氏

撮影者 古林 潤氏

主要役割

大名五郎藏 中村 小福氏

日野屋文吉 阪東 豊昇氏

佐倉屋萬助 中村 崑曉氏

高山源八郎 嵐 寛十郎氏

尾上和泉 片岡 寛十郎氏

松平大和守 市川 福十郎氏

松平上野介 林 誠太郎氏

松平勝千代 嵐 徳太郎氏

お君 久野 あかね嬢

解説——「柳生又十郎」について江後岳翠氏が

監督製作した時代劇である。

略筋——將軍家一門松平大和守の嫡子と生れた

朝若丸は自分は妾腹放弟勝千代を世繼にしやう

とて心にもない放蕩を續けたので父大和は涙を

呑んで彼の望むまゝに勘當した。朝若丸は日野

屋文吉方に客方となり名も五郎藏と改め町奴と

なつた。伊達家剣道指南番の娘と生れたお君は

寫 眞
「大名五郎藏」 帝キ本 江後岳翠氏作品
。右より中村小福氏と片岡寛十郎氏



父や兄の仇を求めて料亭の仲居となり五郎藏と
知合ひ彼の情けのもとに引取られて共ニ仇を探
すことゝなつた。仇源八郎は文吉との間に意恨
を含む佐倉屋萬助の家にあることが知れ討果さ
うとしたが残念にも取逃してしまつた。一方松
平家では叔父と野介の悪計で大和は幽閉され
勝十代は月見の宴に事よせて殺害されようとし
てあるとの事を家老和泉の告げて知つた五郎藏
は急ぎ馳けつけて弟を助け向逃走後と野介に抱
へられくる源八郎に出會ひ丁度來會せた文吉
お君は五郎藏の助力で彼を討取つたのであつた
。其後五郎藏は大名五郎藏と呼ばれ益々俠名を
轟はれたのである。